

高等学校入学年次の次の年次以降

好きなダンスを選んで仲間と共に主体的に活動し、 生涯にわたってのダンスとのかかわり方や楽しみ方を探究しよう！

1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

小学校から高等学校までの「表現運動系及びダンス」の学習の総まとめとなる本単元では、卒業後も生涯にわたって主体的にダンスにかかわる活動を継続し、楽しむことができる力を身につけることが大切です。

そのため、創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスの中から一つを選び、選んだダンスについて、仲間と共に主体的に活動に取り組み、それぞれに特有の表現や踊りを高めて交流や発表をすることができるようにします。そして、生徒一人一人が自己に適したダンスとのかかわり方を見付けることができるようにします。

(2) 授業づくりの考え方

<単元の展開例>

本事例では、生徒達の主体的な活動が円滑かつ計画的に進むよう、次のように考え単元を構成しています。

オリエンテーション、三つのダンスの復習（各1時間）とグループ分け

現代的なリズムのダンス、創作ダンス、フォークダンスについて、1時間ずつ教師主導で活動を行い、それぞれのダンスの特性と活動の進め方を復習してから、三つのダンスから一つを選択し、グループ分けを行う。



グループごとに計画的に学習		踊り込みと発表・交流会の準備、本番	
<p>やってみよう！</p> <p>グループごとに、踊りたいテーマ／踊り／音楽の候補を2～3選び、試してみる。</p> <p style="text-align: center;">リーダー会議</p>	<p>中間発表・交流会 ①</p>	<p>決定した内容の練習に取り組みよう！</p> <p>グループごとに、決定したテーマ／踊り／音楽について、作品やオリジナルダンスづくり、練習に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">リーダー会議</p>	<p>中間発表・交流会 ②</p>
		<p>踊り込みと準備をしよう！</p> <p>・グループごとに、踊り込み、衣装や小道具、音楽等の準備、最終確認を行って、完成度を高める。 ・合同発表・交流会の係打ち合わせ、準備を行う。 ・通し練習やリハーサルを行う。</p> <p style="text-align: center;">リーダー会議</p>	<p>合同発表・交流会</p>

- ・「三つのねらい」を段階的に設け、ねらいごとに中間発表・交流会を行うことにより、生徒達が課題を設定し見直ししながら計画的に活動できるようにする。
- ・リーダー会議では、生徒達が主体的に（時には教師も一緒に）、練習場所の割り振りや、中間発表・交流会、リハーサル、合同発表・交流会の進め方（時間、内容、役割分担等）を相談、計画できるようにする。原則として授業の中で行うが、必要に応じて授業時間外に生徒達が主体的に行うことも考えられる。
- ・教師は、全体や各班の活動の状況をしっかり把握し、活動の進め方についての助言や、表現や踊りに対する助言等をしっかり行うようにする。
- ・合同発表・交流会は、「オープニング→各班の発表・交流→フィナーレ」で構成する。オープニングとフィナーレは、リーダー会議で構成演出を工夫した全員参加プログラムにする。



まとめ「自分に適したダンスとのかかわり方を考えよう！」

合同発表・交流会とそれまでの活動を振り返ると共に、生徒一人一人が自分に適したダンスとのかかわり方を見出せるようにする。

2 単元の目標

- (1) 選んだダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (技能)
- ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。
 - ・フォークダンスでは、日本の民踊や外国のフォークダンスの踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊ること。
 - ・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップなどのリズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ること。
- (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするようにできるようにする。 (態度)
- (3) ダンスの文化的背景と表現の仕方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (知識、思考・判断)

3 単元の評価規準 ※ ・と○数字の項目を本単元では重点的に取り扱う。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。 ・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ・合意形成に貢献しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を踏まえて、目標に応じたグループや自己の課題を設定している。 ・課題解決の過程を踏まえて、取り組んできたグループや自己の課題を見直している。 ・仲間との交流や発表後の話合いの場面では、互いの違いやよさを指摘し、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ・ダンスを生涯にわたって楽しむため自己に適した関わり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊るための動きができる。 ・フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊るための動きができる。 ・現代的なリズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊るための動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的背景と表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・鑑賞の仕方について、学習した具体例を挙げている。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①自分でダンスを選び、学習に主体的に取り組もうとしている。 ②合同発表・交流会に向け、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ③グループなどの話し合いなどに責任をもって関わり、合意形成に貢献しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①仲間の動きを見ることや仲間の助言から、グループや自己の課題を設定している。 ②課題解決の過程を踏まえて、取り組んできたグループや自己の課題を見直している。 ③発表・交流会後の話合いの場面では、互いの違いやよさを指摘し、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ④ダンスを生涯にわたって楽しむため自己に適したかわり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①創作ダンスでは、中心となるイメージをとらえ、ユニゾンやカノン、対立した動きや密集一分散などの動きで変化を付けて、中心となるイメージを強調した「はじめ-なか-おわり」の構成で踊る動きができる。 ②フォークダンスでは、音楽のリズムや曲想に合わせ、民踊の躍動的な動きや腰を落とした動きなどの多様な動き、フォークダンスのパートナーとの多様なステップや様々な組み方で、仲間とタイミングや調子を合わせて踊る動きができる。 ③現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップのリズムに乗ったりはずしたり、重心の上下動や非対称の動き、個と群や場の使い方を強調した構成でまとまりを付けて踊る動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各ダンスの文化的背景と表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ②課題解決の方法について、理解したことを言ったり書きだしたりしている。 ③交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ④鑑賞や評価の仕方について、学習した具体例を挙げている。

4 指導と評価の計画(例)

好きなダンスを選んで仲間と共に主体的に活動し、生涯にわたってのダンスとの

学習の段階		オリエンテーション	三つのダンスの復習とグループ分け			
毎時間の小テーマ			現代的なリズムのダンス	創作ダンス	フォークダンス	三つのダンスから一つを選択グループ分け
時数		1	2	3	4	5
高等学校その次の年次以降(それ以降の年次) ↓	0	1 単元の学習のねらいと進め方を理解する。	1 ダンスウォーミングアップ			1 本時の学習の見通しをもつ
	10	2 作年度の合同発表・交流会の様子を映像で鑑賞する。	ロックやヒップホップのリズムの特徴を強調して、自由に踊ろう！	「ただ今、猛勉強中」というテーマにふさわしいイメージをとらえ、即興的に表現しよう！	「佐渡おけさ」と「トゥ・トゥール」の特徴を強調して、音楽に合わせて踊ろう！	2 「現代的なリズムのダンス」「創作ダンス」「フォークダンス」の中から一つを選択する。
	20		2 教師のリードで、仲間と関わりながら自由に踊る。	2 教師のリードで、共通のイメージや動きで即興的に踊る。	2 それぞれの踊りの伝承されてきた地域や風土、由来を知る。	3 同じダンスを選んだ者同士でグループをつくる。
	30		3 仲間と一緒に自由に踊る。 	3 自分のイメージや動きで即興的に踊る。 <表現の具体例> ・教科書のページをひたすらめくる。 ・書く ・わからない！(頭を抱える・考える) ・時間が足りない！(焦りと不安)など	3 ステップや動きと組み方を大づかみに覚える。	4 6~13時間目の見通しをもつ。 ・グループごとに試してみたいことを2~3考える。
	40		4 好きなリズムを選んで、変化とまとまりを付けた動きを工夫する。	4 グループで、緩急強弱のある動きや空間の使い方を工夫して表現する。	4 難しいステップや動きを取り出して練習する。 5 特徴をとらえて踊れるよう、仲間と教え合いながら練習する。 	<現代的なリズムのダンス> 試してみたいリズムや音楽をあげる。 <創作ダンス> A~Fのテーマ例(学習指導要領解説)を参考に、試してみたいテーマをあげる。 <フォークダンス> 試してみたい踊りをあげる。
50		5 交流会	5 見せ合い	6 交流会		
評価の観点	関心・意欲・態度					①(観察)
	思考・判断					
	運動の技能					
	知識・理解	①(学習カード・観察)				①②(学習カード)

※2~4時間目に取り上げるダンスの順番は、生徒の状況や学校の施設条件に合わせて工夫する。
 ※2時間連続で授業を実施する場合は、1回の授業で3種類のダンスを行い、それを3回繰り返すことも考えられる。
 ※20時間としてあるが、18~22時間の幅をもたせて計画することも考えられる。
 ※時数を○で囲んであるものは「本時の目標と展開」を例示した。

かかわり方や楽しみ方を探究しよう！

グループごとに計画的に練習(1.取り組みたい内容を試してみよう！ / 2.決定した内容の練習に計画的に取り組もう！)			
やってみたい内容を試してみよう！		中間発表・交流会①	
⑥・7・8		9	
<p><現代的なリズムのダンス></p> <p>グループごとに、試したいリズムや音楽の特徴をとらえ、リーダーのリードで自由に踊る。</p> <p>→</p> <p>・リズムや音楽の特徴を強調し、変化とまとまりを付けた動きを工夫する。</p> <p>→</p> <p>反省と課題</p> <p>→</p> <p><創作ダンス></p> <p>グループごとに、試したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、リーダーのリードで即興的に踊る。</p> <p>→</p> <p>・個や群で、対極の動きや空間の使い方を工夫する。 ・音楽や小道具の工夫について検討する。</p> <p>→</p> <p>反省と課題</p> <p>→</p> <p><フォークダンス></p> <p>グループごとに、試したい踊り(日本の代表的な民踊、地元の民踊、外国のフォークダンス)の資料を調べ、大づかみに踊り方を覚えて踊る。</p> <p>→</p> <p>・多様なステップや動きと組み方で踊れるよう練習する。 ・踊りが伝承されてきた地域や風土の背景や情景を思い浮かべながら、感じを込めて踊る。</p> <p>→</p> <p>反省と課題</p>		<p>【リーダー会議】 各グループのリーダーで、練習場所の割り振り、中間発表・交流会①の進め方(時間・内容・役割等)を話し合う。</p> <p>1 <現代的なリズムのダンス>のグループによる発表と交流 ・6~8時に試した2~3の音楽によるダンスを発表する。 ・他の生徒も参加し、全員で踊る。</p> <p>2 <創作ダンス>のグループによる発表と交流 ・6~8時に試した2~3の作品を発表する。 ・他の生徒も、一部参加し、全員で踊る。</p> <p>3 <フォークダンス>のグループによる発表と交流 ・6~8時に試した2~3の踊りを発表する。 ・他の生徒も踊り方を覚えて、一緒に踊る。</p> <p>4 コメントカード記入</p> <p>5 グループごとに、音楽(ダンス)、作品、踊りの選定 ・中間発表・交流会①での手ごたえや他のグループの生徒のコメントカードなどを参考にする。 ・合同発表・交流会のプログラム全体のバランスも考慮する。</p>	
① (学習カード・観察)		②③ (コメントカード・観察)	
	①② (観察)	③ (観察)	
			④ (学習カード・コメントカード)

好きなダンスを選んで仲間と共に主体的に活動し、生涯にわたってのダンスとの

グループごとに計画的に練習 (1.取り組みたい内容を試してみよう！／2.決定した内容の練習に計画的に取り組もう！)			
決定した内容の練習に計画的に取り組もう！			中間発表 ・交流会②(合同)
10 ・ ⑩ ・ 12			13
<p><現代的なリズムのダンス></p> <p>合同発表・交流会に向けて、オリジナルダンスの練習を行う。</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロックやヒップホップのリズムの特徴をとらえたステップやターンの組合せに上半身の動きを付けているか。 ・ビートを強調してリズムに乗ったり、リズムに変化を与えるためにアクセントの位置をずらしたりしているか。 ・リズムの取り方や床を使った動きなどで変化を付けているか。 ・身体の部位の強調などで動きにメリハリをつけているか。 ・変化のある動きを連続して、個と群や場の使い方を強調した構成でまとまりを付けているか。 ・他の生徒の参加の仕方を工夫しているか。 			<p>【リーダー会議】 各グループのリーダーで、練習場所の割り振り、中間発表・交流会②、リハーサル、合同発表・交流会の進め方(時間・内容・役割等)、全員参加プログラムの内容を話し合う。</p>
<p><創作ダンス></p> <p>合同発表・交流会に向けて、作品の練習を行う。</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心となるイメージをとらえているか。 ・個や群での動きを工夫しているか。 ・対極の動きや空間の使い方が工夫されているか。 ・中心となるイメージを強調した「はじめーなかーおわり」の構成で表現しているか。 ・「なか」で、最も特徴的な動きや構成を強調した盛り上がりのある起伏を付けているか。 ・他の生徒の参加の仕方を工夫しているか。 			
<p><フォークダンス></p> <p>合同発表・交流会に向けて、踊りの練習を行う。</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本民謡の多様な動き、外国のフォークダンスのパートナーとの多様なステップや組み方で踊れているか。 ・仲間とタイミングや調子を合わせて、組んだ手で軽く押したり引いたり、ステップやターンなど相手の動きに対応して手足を動かしたり、パートナーチェンジをしたりしているか。 ・踊りやすい適切な距離を保って隊形を作ったり、動き易い組み方をしたりしているか。 ・他の生徒に踊りを教えられるか。また、参加の仕方を工夫しているか。 			
			<p>1 オープニング (全員参加プログラム)</p> <p>2 各グループの発表・交流</p> <p><現代的なリズムのダンス> <創作ダンス> <フォークダンス> の順番は決めておく。</p> <p>3 フィナーレ (全員参加プログラム)</p> <p>4 コメントカード記入</p> <p>5 反省会 ・合同発表・交流会に向けて、改善点などを話し合う(全体、および各グループごとに)。</p>
			 <p>創作ダンス 一布を工夫してー</p>
			② (観察)
			②③ (学習カード・コメントカード)
② (観察)	① (観察)	③ (観察)	

かかわり方や楽しみ方を探究しよう！

高等学校それ以降の年次（20時間）

踊り込みと準備、「合同発表・交流会」の開催		まとめ
踊り込みと合同発表・交流会の準備をしよう！		自分に適したダンスとのかかわり方を考えよう！
14 ~ 18		⑲
<p>1 踊り込み ・グループごとに、踊り込み、衣装や小道具、音楽等の準備、最終確認を行う。</p> <p>2 係打ち合わせ・準備 ・全員参加プログラム、音響、照明、広報などの係ごとにリハーサルと合同発表・交流会の係打ち合わせと準備を行う。</p> <p>3 通し練習 ・中間発表・交流会②の反省をもとに全員で全体通し練習を行う。 ・役割分担の確認を行う。</p> <p>【リーダー会議】 次時のリハーサルの最終確認等を行う。</p>		<p>1 本時のねらいの確認</p> <p>自分に適したダンスとのかかわり方を考えよう！</p> <p>2 本單元での学習の振り返りとまとめ(合同発表・交流会のDVD鑑賞)</p> <p>3 ダンスとのかかわり方には「踊る」「観る」「支える」という三つがあることを知る。</p> <p>4 さまざまなダンスとの三つのかかわり方について、グループで具体例を出し合い、学習カードに記入し、発表する。</p> <p>5 高校卒業後の自分のダンスとのかかわり方について、学習カードに自分の考えを記入する。</p> <p>6 まとめ</p>
<p>1 リハーサル ・発表内容や役割などを確認しながら、「オープニング→各グループの発表・交流→フィナーレ」の全体の流れを一通りすべて行う。</p> 		<p>1 合同発表・交流会</p> <p>①開会式</p> <p>②オープニング (全員参加プログラム)</p> <p>③各グループの発表・交流</p> <p>④フィナーレ (全員参加プログラム)</p> <p>⑤閉会式</p>
<p>2 反省会 ・リハーサルで明らかになった課題や反省点を話し合っ、共有し、改善・修正する。 (全体、および各係・グループごとに)</p> 		<p>2 まとめ ・コメントカード、および学習カードの記入</p>
③ (観察)		
		③ (学習カード・観察)
		④ (学習カード・観察)
		①②③ 観察・コメントカード (VTRの活用)
③ (学習カード)		②③④ (学習カード)

5-1 本時の目標と展開

【高等学校その次の年次以降（それ以降の年次） 選んだダンスの学習 3 「取り組みたい内容を試してみよう!」 6 / 20 時間】

(1) 本時の目標

- グループごとに合同発表・交流会でやってみたい内容（テーマ／踊り／リズム（音楽））を試し、次のように踊ることができるようにする。 (技能)
 - ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けたひと流れの動きを工夫して踊ることができるようにする。
 - ・フォークダンスでは、日本の民踊や外国のフォークダンスの踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊ることができるようにする。
 - ・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップのリズムの特徴を強調して、変化とまとまりを付けた動きを工夫して仲間と対応して踊ることができるようにする。
- グループごとの課題の解決に向けて、練習に主体的に取り組むことができるようにする。 (態度)
- 選んだダンスの高め方を理解し、仲間の動きを見ることや仲間の助言から、グループや自己の課題を設定することができるようにする。 (知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、思考・判断を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価（☆）
ほしめ5分	1 ウォーミングアップを行う。 2 本時のねらいを確認する <div style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">取り組みたい内容を試してみよう!</div> 3 グループごとに本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチを中心とした簡単な運動を行わせる。 ・本時の学習内容を理解させ、グループで課題に応じた動き方を追求できるよう指示する。
なか35分	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="color: #0070c0; text-align: center;">＜創作ダンス＞</p> <p>4 グループごとに使いたい「もの（小道具）」を選び、リーダーのリードで共通のイメージや動きで即興的に踊る。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="color: #0070c0; text-align: center;">＜現代的なリズムのダンス＞</p> <p>4 グループで選んだリズムや音楽の特徴をとらえ、リーダーのリードで自由に踊る。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="color: #0070c0; text-align: center;">＜フォークダンス＞</p> <p>4 グループで選んだ踊りの由来と特徴を資料から調べ、踊り方を解説し、大づかみに覚える。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・[創作ダンス] 各グループを巡回し、質感や大きさの違う「もの」を紹介し、動きをアドバイスする。 *本時は各グループとも「もの（小道具）を使った動き」を試す。 *大きな布、ゴム、机、ティッシュペーパー、<u>新聞紙、ボール、椅子</u>など ・置いたボールを「見る」「近づくー離れる」⇔ボールを「持つ」「受け渡す」「取り合う」 ・「はこびの転換点の強調」を意識して動こう! ・[現代的なリズムのダンス] 各グループを巡回し、新しい動きづくりのヒントをアドバイスする。 ・床を転がる、低い姿勢で足を出す・引く。側転・倒立・前転・後転をアレンジした動き。ジャンプの工夫。 ・波、電流を身体に流すような動き(WAVE)。相手の背中の上を転がる。 ・2人組、3人組の動きの工夫（相手を持ち上げる。ジャンプの補助をする）。高・中・低の高さを変えた連続ポーズ。

	<p>＜創作ダンス＞ ＜現代的なリズムのダンス＞ ＜フォークダンス＞</p> <p>踊りが伝承されてきた地域や風土の背景や情景を思い浮かべ、感じを込めて踊ろう！</p>  <p>5 表したいイメージをとらえ、変化を付けたひと流れの動きを工夫する。</p> <p>5 リズムの特徴を強調して、変化とまとまりを付けた動きを工夫する。</p> <p>5 踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて踊れるよう練習する。</p> <p>6 三つのダンスごとに見せ合い・コメントカード記入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[フォークダンス] 各グループを巡回し、難しいステップや動きのポイントを指導する。次時に向け、他の曲目例を紹介する。 <p>(日本) 佐渡おけさ・さんさ踊り (デンマーク) トゥ・トゥール (ギリシア) ミザルー (ロシア) アレクサンドロフスカ (アメリカ) タンゴ・ミクサー など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つのダンスごとに各グループの動きを見せ合い、コメントカードを書いて渡すよう指示する。 <p>「努力を要すると判断される生徒」への手立て △コメントカードに記載されている他グループからのアドバイスを参考にしながら考えさせる。</p>
<p>まとめ10分</p>	<p>7 本時のまとめ ・学習カードの記入 ・次時の課題をグループごとに確認する。</p> <p>8 リーダー会議</p> <p>9 次時の確認・挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を通して感じたことをまとめ、他グループからのコメントカードを参考にしながら、反省、課題を学習カードに記入させる。 <p>☆仲間の動きを見ることや仲間の助言から、グループや自己の課題を設定している。【思考・判断①】(学習カード・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの活動の進め方について意見交換し、練習場所を調整する。他の生徒は片づけを行う。 ・本時の感想を述べ、次時の活動につなげる。

5-2 本時の目標と展開

【高等学校その次の年次以降（それ以降の年次） 選んだダンスの学習 3 「決定した内容の練習に計画的に取り組もう！」 11 / 20 時間】

(1)本時の目標

- グループごとに決定した内容（テーマ／踊り／リズム（音楽））の練習に取り組み、次のように踊ることができるようにする。（技能）
 - ・創作ダンスでは、中心となるイメージをとらえ、ユニゾンやカノン、対立した動きや密集－分散などの動きで変化を付けて、中心となるイメージを強調した「はじめ－なか－おわり」の構成で踊ることができるようにする。
 - ・フォークダンスでは、音楽のリズムや曲想に合わせ、民踊の躍動的な動きや腰を落とした動きなどの多様な動き、フォークダンスのパートナーとの多様なステップや様々な組み方で、仲間とタイミングや調子を合わせて踊ることができるようにする。
 - ・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップのリズムに乗ったりはずしたり、重心の上下動や非対称の動き、個と群や場の使い方を強調した構成でまとまりを付けて踊ることができるようにする。
- グループの話し合いに責任をもって関わり、合意形成に貢献しようとするようにする。（態度）
- 課題解決の方法を理解し、グループや自己の課題を見直すことができるようにする。（知識、思考・判断）

(2) 展開 ※ 本時では、創作ダンスのグループの運動の技能を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価（☆）
はじめ 10分	1 ウォーミングアップを行う。 2 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; color: white; background-color: #e67e22;">決定した内容の練習に計画的に取り組もう！</div> 3 グループごとに本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチを中心とした簡単な運動を行わせる。 ・本時の学習内容を理解させ、グループで課題に応じた動き方を追求できるよう指示する。 ・本時は創作ダンスの各グループを巡回することを伝える。
なか 35分	4 今までにできているところまでを踊る。 5 本時の課題に応じて、グループごとに作品／踊り／ダンスの完成を目指して取り組む。 <創作ダンス>のグループの例 ○A グループの「我らガリ勉ダンサーズ」 課題：作品の中核となる動きをさらに見付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">椅子と教科書を使用</div>   ○B グループの「無実-百万ノ声トドカナイ」 課題：テーマの表現性を高める列、円などの空間構成を工夫する。  	<ul style="list-style-type: none"> ・A グループの作品「我らガリ勉ダンサーズ」を見る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e6f2ff;">椅子を使った動きのおもしろさを引き出しながら、勉強しながら踊っている動きを工夫してみよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・椅子を生かしガリ勉をイメージさせる演出をアドバイスする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e6f2ff;">勉強しながらうたた寝する動きをダンスにしてみよう！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e6f2ff;">早足で焦っている感じ!! 視線はファイル！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e6f2ff;">「794 うぐいす平安京」など暗記言葉を皆で声に出してみるのはどうかな。</div> ・B グループの作品「無実-百万ノ声トドカナイ」を見る。 <ul style="list-style-type: none"> ・表現性を高める作品の始まりや中盤の構成をアドバイスする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e6f2ff;">はじめは、囚人を囲んで立つことで檻を表現してみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e6f2ff;">自分は、無実であると訴える中核の動きは、前後に動きながら繰り返してみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆創作ダンスでは、中心となるイメージをとらえ、ユニゾンやカノン、対立した動きや密集－分散などの動きで変化を付けて、中心となるイメージを強調した「はじめ－なか－おわり」の構成で踊る動きができる。 【技能①】（観察） </div>
まとめ 5分	6 グループごとに、できたところまでを踊る。 7 本時のまとめ ・学習カードの記入 ・次時の課題をグループごとに確認する。 8 次時の確認・挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の反省、課題を学習カードに記入させる。 ・創作ダンスの各グループを巡回した感想を述べ、次時は現代的なリズムのダンスの各グループを巡回することを伝える。

5-3 本時の目標と展開

【高等学校その次の年次以降（それ以降の年次）「合同発表・交流会」19 / 20 時間目】

(1)本時の目標

- グループごとに合同発表・交流会で、次のように踊ることができるようにする。 (技能)
 - ・創作ダンスでは、中心となるイメージをとらえ、ユニゾンやカノン、対立した動きや密集-分散などの動きで変化を付けて、中心となるイメージを強調した「はじめ-なか-おわり」の構成で踊ることができるようにする。
 - ・フォークダンスでは、音楽のリズムや曲想に合わせ、民謡の躍動的な動きや腰を落とした動きなどの多様な動き、フォークダンスのパートナーとの多様なステップや様々な組み方で、仲間とタイミングや調子を合わせて踊ることができるようにする。
 - ・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップのリズムに乗ったりはずしたり、重心の上下動や非対称の動き、個と群や場の使い方を強調した構成でまとまりを付けて踊ることができるようにする。
- 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすることができる。 (態度)
- 評価の観点を理解し、合同発表・交流会後の話し合いの場面では、自分や他のグループの演技の違いやよさを具体的に指摘し、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができるようにする。 (知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、思考・判断および運動の技能を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価(☆)
はじめ 10分	1 準備 ・衣装や小道具、音楽などを準備し、各グループの発表・交流の最終確認を行う。 ・会場を設定する(司会用マイク・掲示・音響設備・観客用の椅子等)。 2 集合・挨拶・健康観察 3 ダンスウォーミングアップ	・会場設営に関して、係でよく確認するように促す。 ・本時は、合同発表・交流会であるため、今までの学習の成果を十分に発揮するように伝える。 ・挨拶を促し、健康観察を行う。
なか 30分	<p style="text-align: center;">合同発表・交流会を成功させるために、今までの学習成果を発揮しよう!!</p> 4 合同発表・交流会 ・各係が司会や音響・照明などを行う。 ①開会式 ②オープニング (全員参加プログラム) ③各グループの発表・交流 ・他のグループの発表・交流を鑑賞しながら、各グループの演技についてコメントカードに感想(良かった点と改善点や評点)を記入する。  ④フィナーレ(全員参加プログラム) ⑤閉会式	・生徒の学習の成果が十分に発揮できるように安全に配慮する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 【オープニング(全員参加プログラム)の例】 ・写真撮影の場面(みんなでポーズ)から始める。 ・一人ずつ短いソロ(ひと流れの動き)を次々に踊る場面から始める。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ☆創作ダンスでは、中心となるイメージをとらえ、ユニゾンやカノン、対立した動きや密集-分散などの動きで変化を付けて、中心となるイメージを強調した「はじめ-なか-おわり」の構成で踊る動きができる。 ☆フォークダンスでは、音楽のリズムや曲想に合わせ、民謡の躍動的な動きや腰を落とした動きなどの多様な動き、フォークダンスのパートナーとの多様なステップや様々な組み方で、仲間とタイミングや調子を合わせて踊る動きができる。 ☆現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップのリズムに乗ったりはずしたり、重心の上下動や非対称の動き、個と群や場の使い方を強調した構成でまとまりを付けて踊る動きができる。 【技能①②③】(観察・コメントカード) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 【フィナーレ(全員参加プログラム)の例】 ・何かを探し求める感じで一人ずつ左右から走り出てきて、センターに皆で集まり、ゆっくり観客の方に歩いてきて止まって終わる(卒業後に一人一人が自分の道を歩いていくイメージ)。 ・簡単な振りを皆で覚えて、観客も一緒に会場全体で全員で踊る。 ・選択者の人数が少ない、もしくはいなかったダンスを教師も一緒に踊る。 </div>
まとめ 10分	5 学習のまとめ ・グループごとに、自分たちや他のグループの演技について振り返り、良かった点や改善点を話し合う。 ・学習カードに全体の感想と自分たちのグループや他のグループの演技について感想(良かった点と改善点)を記入する。 ・各グループのリーダーが、全体の感想、自分たちのグループや他のグループの感想(良かった点と改善点)を簡潔に発表する。 6 挨拶、片付けを行う。	・本時の学習内容の確認を行う。 ・グループの中で、全員発言するように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ☆発表・交流会後の話し合いの場面では、互いの違いやよさを指摘し、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。【思考・判断③】(観察・学習カード) </div> ・次時の連絡を伝える。 ・挨拶とその後の片付けを促す。

5-4 本時の目標と展開

【高等学校その次の年次以降（それ以降の年次）「自分に適したダンスとのかかわり方を考えよう！」

20 / 20 時間】

(1) 本時の目標

- 本時の課題に主体的に取り組むことができるようにする。(態度)
- 課題解決の方法、交流や発表および鑑賞や評価の仕方について、理解することができるようにする。
- 本単元での学習を振り返り、ダンスを生涯にわたって楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができるようにする。(知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、思考・判断および知識・理解を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価(☆)
はじめ2分	1 本時のねらいを知る。	・本時のねらいを説明する。
	<ねらい>生涯にわたってダンスを楽しむことができるよう、自分に適したダンスとのかかわり方を考えよう！	
なか43分	2 合同発表・交流会を収録したDVDを観て、本単元での学習を振り返り、まとめる。 ・次の観点についてグループで話し合い、学習カードに記入する。 <観点> *練習過程(課題の設定・解決など取り組み方) *自分たちや他のグループの作品・ダンス・踊りの違いやよさ *合同発表・交流会等の企画・運営 ・課題解決の方法、交流や発表および鑑賞や評価の仕方について学んだことを学習カードに記入する。	・振り返る観点を示し、それぞれについて良かった点と改善点をグループで話し合わせ、学習カードに記入させる。 ・前時のコメントカードをまとめた資料を配布し、作品の相互評価の参考にさせる。 ・リーダーから話し合った内容を発表させ、練習での課題の設定と解決の方法、発表・交流の行い方、鑑賞・評価の仕方について板書してまとめる。それを学習カードに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">☆課題解決の方法、交流や発表および鑑賞や評価の仕方について、学習した具体例を挙げている。 【知識・理解②③④】(学習カード)</div>
	3 ダンスとのかかわり方には、「踊る」「観る」「支える」という三つがあることを知る。	・本単元での活動を例に挙げながら、「踊る」「観る」「支える」という三つのかかわり方があることを説明する。
	4 ①私たちの周りにはどんなダンスがあるか、②私たちはこれからどのようにダンスを「踊る」「観る」「支える」ことができるかをグループで話し合い、学習カードに書き出し、発表する。	・私たちの周りにはあるさまざまなダンスの存在とかかわり方をイメージできるように、DVDを見せながら説明し、助言する。 <DVD内容(例)>バレエ、日本舞踊、コンテンポラリーダンス、社交ダンス(ボールルームダンス)、フラダンス、高齢者の民謡とリズムダンス ・発表させ、板書し、まとめる。 ・学習カードに記入させる。
	5 卒業後の自分はどのようにダンスとかかわり、楽しんでいきたいかについて、学習カードに記入する。	・高校卒業後の在学期、在職期、学校卒業あるいは退職後の在宅期の自分をイメージして考えさせ、学習カードに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">☆ダンスを生涯にわたって楽しむため自己に適したかかわり方を見付けている 【思考・判断④】(学習カード)</div>
まとめ5分	6 本時のまとめを聞く。	・本時のまとめを行う。
	私たちの周りには、人生を豊かにしてくれるさまざまな良さや魅力を持つ多様な種類のダンスがあり、私たちは自分の嗜好やライフスタイル、ライフステージに応じてさまざまなダンスと関わり楽しむことができる。	